

5.3 広がる（Develop）～自転車で新たに広がる地域づくり～

自転車活用による観光・地域振興を図るため、サイクリストの誘致やサイクリング環境の整備、さらに、レンタサイクルやシェアサイクル等を普及させ、自転車を活用した観光地域づくりを推進します。また、災害時に、避難や復旧支援等における自転車活用についても検討し、自転車活用の多様化に努めます。

(1) 自転車活用による観光・地域振興の促進

- 山口県で設定されている広域サイクリングルートにおいて、自転車利用者が、快適に利用できる環境の創出に努めます。
- 観光施設やサイクリストにとってのサイクリング環境の情報をPRします。
- 官民連携し、サイクリストに人気のあるルートや観光施設を巡るサイクリングルートの整備を行います。
- 関係機関と連携し、レンタサイクルやシェアサイクルのシステム導入を検討します。
- 鉄道駅やバス停付近に自転車を停めて公共交通機関を利用するサイクル・アンド・ライドを促進します。
- 多様な自転車が安心して走行できる環境づくりに努めます。
- 観光客等の回遊性を向上させるため、自転車で巡る観光マップの作成を検討します。

(2) 災害時における自転車活用の促進

災害時において、自転車活用による避難・復旧支援等を検討します。





5.3.1 自転車活用による観光・地域振興の促進

(1) サイクリング環境の充実

山口県のサイクリングルート、距離、道案内の路面表示等の走行環境の整備、官民連携による休憩施設やサイクルピットの設置等、サイクリストやその他自転車利用者に対し、快適に利用できる環境の創出に努めます。

(2) サイクリストの誘客

サイクル県やまぐち推進協議会で作成されたサイクリングマップを活用するとともに、観光施設のPR、サイクリング環境の情報、HPやチラシ配布等、民間のノウハウ活用による効果的な情報発信により、サイクリストの誘客拡大に努めます。

参考 宇部市内に設置されているサイクルピット



山口宇部空港に設置されているサイクルピットと更衣室

(3) 広域サイクリングルート・観光ルート整備の推進

サイクル県やまぐち推進協議会において、観光施設等を巡る広域サイクリングルートを設定し、受入環境の整備に取り組んでいます。また、宇部市・山口市・防府市・美祢市の連携により、「ほっとうみやまサイクリングマップ」を作成し、観光ルートを設定しています。

本市は、対象となるルートについて、関係機関との連携を図りながら、自転車通行環境の整備を実施し、誘客の拡大と地域の活性化を促進します。

参考 瀬戸内アドベンチャー輪道

新山口駅を発着点として、山間部から海岸部へと変わっていく景色の変化を楽しむコースです。日本の夕日百選に選ばれた焼野海岸、本山岬のくぐり岩等を通り、後半は比較的平坦な道が続いています。

発着地点名	(スタート) 新山口駅 (ゴール) 新山口駅
総走行距離	93.2km
最大標高差	144m
獲得標高	781m
所要時間	5時間20分 (18km/hと仮定した参考値)



【出典：サイクル県やまぐち Project HP】





参考 瀬戸内アドベンチャー輪道の見どころ

旧船木鉄道大瀬トンネル

昭和19年（1944年）に線路鉄の供出により廃線となった旧船木鉄道の廃線敷にあるトンネル跡。



本山岬のくぐり岩

およそ3億年前の地層が露出し、侵食や風化を繰り返しながら長い歳月をかけ形成された奇岩。



キワ・ラ・ビーチ

干潮時に現れる幅2.0km、奥行き700mの広大な砂洲は歩いて渡ることができる。特に風のない日は、潮溜まりに鏡のように景色が映り込む幻想的な光景が広がる。



ときわ公園

東京ドーム40個分の広大な敷地には、動物園、遊園地等様々な施設がある。2年に1度開催される現代日本彫刻展UBEビエンナーレの会場にもなっている。

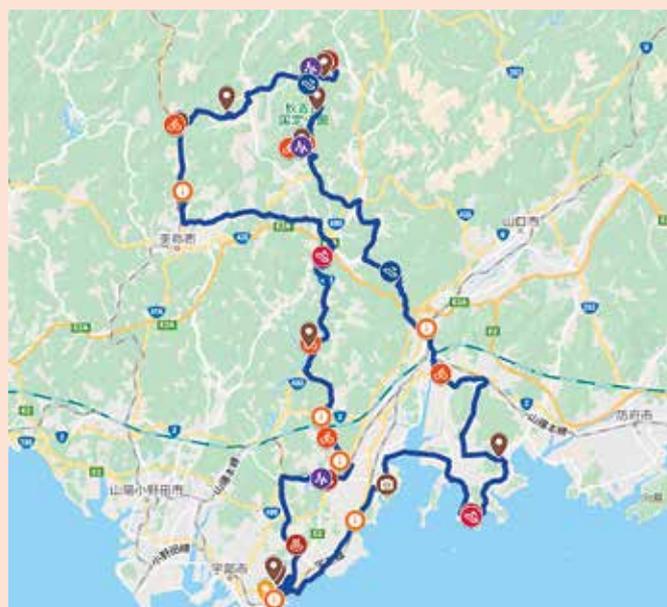


うみやまコース

宇部市街地をぬけ、美祢市のカルスト台地そして山口市の海岸線を臨むコース。街並みから海・山の大自然をふんだんに楽しめるロングコースです。



発着地点名	(スタート) 山口宇部空港 (ゴール) 山口宇部空港
総走行距離	160km
最大標高差	303m
所要時間	約10時間



- 📍 スタート/ゴール地点
- 📍 主な観光スポット
- ♨️ 立ち寄り温泉
- 🚲 サイクルエイド
- ⬇️ アップダウンが激しい場所
- 📍 交通量が多い場所
- 🚶 上り坂
- 🚶 下り坂

【出典：宇部市・山口市・防府市・美祢市連携観光交流推進連絡会議】



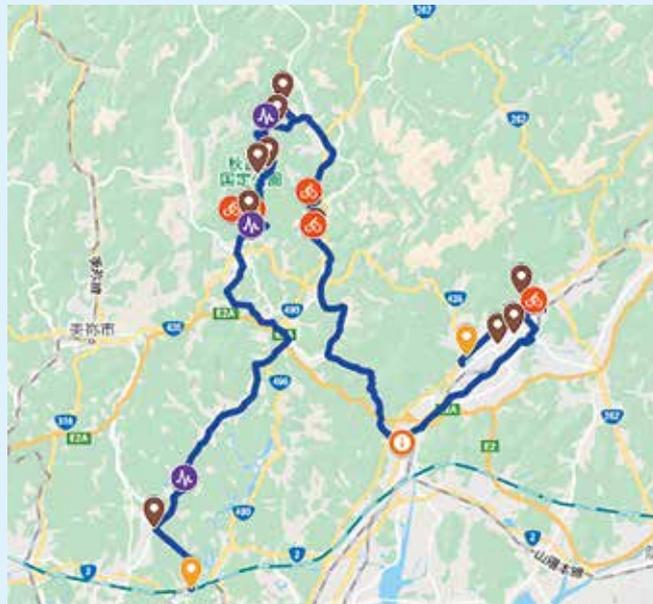


のんびり観光コース

人気の観光地を巡りながら、地元の食も楽しめる、のんびり走れるコースです。



発着地点名	(スタート) JR厚東駅 (ゴール) 維新百年記念公園
総走行距離	90km
最大標高差	298m
所要時間	約7時間



- スタート/ゴール地点
- 主な観光スポット
- 立ち寄り温泉
- サイクルエイド
- アップダウンが激しい場所
- 交通量が多い場所
- 上り坂
- 下り坂

【出典：宇部市・山口市・防府市・美祢市連携観光交流推進連絡会議】

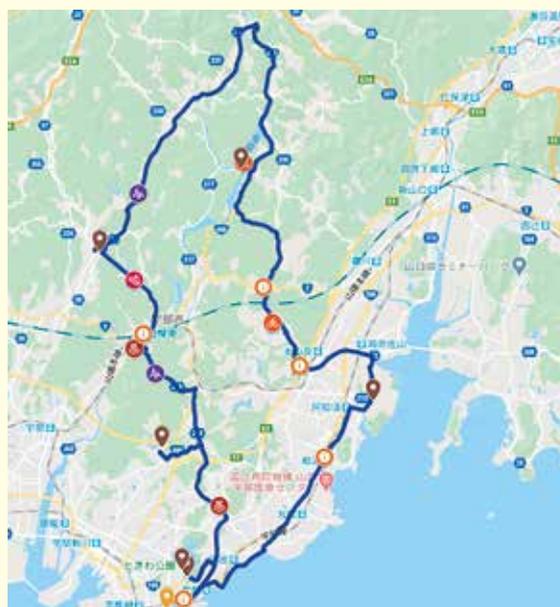
第5章 計画の実施
～施策と講ずべき措置～

宇部コース

山口宇部空港に到着後すぐに走り出せます。街なかでありながら、豊かな自然を感じてリフレッシュしながら走れるコースです。



発着地点名	(スタート) 山口宇部空港 (ゴール) 山口宇部空港
総走行距離	80km
最大標高差	119m
所要時間	約6時間



- スタート/ゴール地点
- 主な観光スポット
- 立ち寄り温泉
- サイクルエイド
- アップダウンが激しい場所
- 交通量が多い場所
- 上り坂
- 下り坂

【出典：宇部市・山口市・防府市・美祢市連携観光交流推進連絡会議】



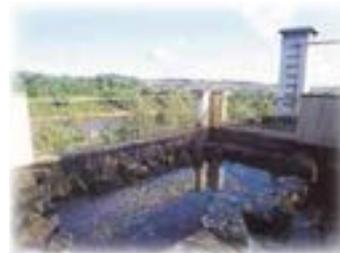


参考 本市のおすすめサイクリングコース

霜降山・持世寺コース

急勾配な上り坂のコースで、宇部市を一望できる展望台があります。近くには、温泉施設（持世寺温泉）もあります。

発着地点名	(スタート) 霜降山入口 (ゴール) 霜降山展望台
総走行距離	2.3km
所要時間	約20分



キワ・ラ・ビーチコース

山口宇部空港を発着点として、海岸線を走れるコースです。行き帰りの異なった風景が楽しめます。

発着地点名	(スタート) 山口宇部空港 (ゴール) 山口宇部空港
総走行距離	24km
所要時間	約1時間半



参考 本市のおすすめサイクリングコース

万倉・立熊コース

楠こもれびの郷を発着点として、豊かな自然を感じて走れるコースです。サイクリングの後は、温泉でゆっくり汗を流せます。

発着地点名	(スタート) 楠こもれびの郷 (ゴール) 楠こもれびの郷
総走行距離	27km
所要時間	約2時間



サイクリングコースのマップ





(4) レンタサイクルやシェアサイクル活用の推進

- レンタサイクルやシェアサイクルを地域活性化や公共交通機関の機能補完を担う移動手段として位置付け、シェアサイクル事業者、自転車軽自動車商協同組合や観光施設等と連携し、地域間の移動の利便性向上に向けたレンタサイクルやシェアサイクルのシステム導入を検討します。
- 普通自転車、電動アシスト自転車（三輪車も含む）、タンDEM自転車やスポーツ用自転車等、多様な自転車の貸出を検討し、若者から高齢者まで幅広く、自転車の活用を促進します。
- チラシ配布やHP等を活用した広報を推進し、レンタサイクルやシェアサイクル活用の普及を促進します。

参考 PiPPAシェアサイクル



「PiPPA（ピッパ）」は、IoT技術を用い、専用駐輪場間で自由に乗り降りすることが可能な次世代のシェアサイクルサービスです。

スマートフォン1つで「ピッ」と開錠して「パッ」と乗れるシェアサイクルサービス



STEP1



STEP2



STEP3



STEP4



STEP5

【出典：株式会社オーシャンブルースマートHP】

参考 本市におけるシェアサイクルの在り方

本市で行ったシェアサイクルの実証実験（令和元年度）により、大学キャンパス関連の利用が全体の約5割であったことや、大学関係者や観光客が主な需要者であること等の結果が得られました。この結果について、山口大学が考察し、地方都市におけるシェアサイクルは公共交通の補完としての役割が適していると結論付けています。

【出典：山口大学「地方中小都市におけるシェアサイクルの展開可能性」】

(5) サイクル・アンド・ライドの促進

自転車通行空間や駐輪場の整備等、自転車の利用環境を充実させ、多くの市民に自転車を利用してもらえるよう、広報・啓発活動を通じて鉄道駅や乗継拠点のバス停付近に自転車を停めて公共交通機関を利用するサイクル・アンド・ライドを促進します。

(6) 2人乗り自転車の活用促進

山口県では、平成30年（2018年）4月から、タンデム自転車（2人乗り自転車）の利用が可能となりました。このことを踏まえ、多様な自転車が安心して走行できる環境づくりに向けて、タンデム自転車の周知を行うとともに、それを体験する機会の創出、PR活動やレンタサイクルへの導入等を、関係機関と連携しながら検討します。

参考 山陽小野田市で開催されたタンデム自転車試乗会



タンデム自転車体験試乗会の状況（山陽小野田市の事例）





参考 2人乗り自転車の需要

タンDEM自転車等の2人乗り自転車は、福祉事業者において需要が高いことが既往の研究から確認されており、地域のニーズを踏まえた2人乗り自転車の普及促進を検討するとともに、安全利用のための周知・啓発活動を行います。

出典：小西琢也、吉田長裕：福祉事業者による移動困難者を対象とした2人乗り可能な自転車の日常的利用に関する事例研究、土木学会論文集D3（土木計画学）、Vol.75. No.5. 2019

(7) 観光客等の回遊性向上の取組

- 多様な自転車のレンタサイクル・シェアサイクルを検討するとともに、観光施設、温泉施設やグルメ等、宇部の観光を楽しむことができるサイクリングコースの設定やサイクルマップの作成を検討し、市内中心部や観光地における回遊性の向上を図ります。
- 観光に関連する機関や地域と連携し、サイクルラックの設置、飲料販売等による給水、空気入れの配備等、自転車を利用しやすい環境の創出に努めます。

参考 回遊性向上の取組事例

《レンタサイクル（防府市の事例）》

普通自転車、電動自転車、タンDEM自転車等の貸出が行われています。

また、借りた場所以外でもレンタサイクルを返却できる「相互返却サービス」の実証実験を行う等、自転車活用促進の取り組みが進んでいます。



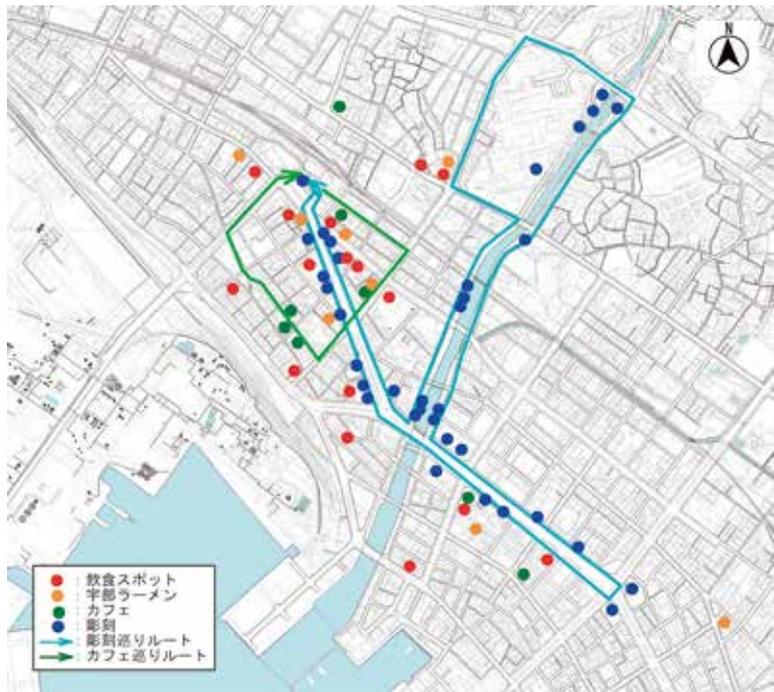
《その他事例》

- サイクルラックの設置
- 空気入れの配備



【出典：サイクル県やまぐちproject】

参考 本市を自転車で巡る観光マップ



※上記マップは、アプリ「うべ観光ナビゲーター」、宇部観光コンベンション協会HP、観光案内ガイドブック「うべつう」、情報誌「どーんと1000軒山口くちこみグルメ2019」等を参考にしていますが、作成イメージであるため、市内中心部に限定しています。

第5章 計画の実施
施策と講ずべき措置





5.3.2 災害時における自転車活用の促進

東日本大震災を契機に、発災後の移動手段として自転車が注目されています。今後、発生が予想される南海トラフ地震や大規模地震の際、公共交通機関の運行停止や燃料の供給不足等により、移動手段が限定されることが考えられ、災害時における自転車の有効活用が期待されています。

このことを踏まえ、災害発生時に、自転車を活用した避難や復旧支援等を検討するため、以下の取り組みを行います。

- 自転車は、幅広い世代が乗れる身近な交通手段であり、渋滞の影響を受けにくいことから、避難時の有効な移動手段として考えられます。このことから、官民連携して、地域の実情を踏まえた災害時の自転車活用を促進します。
- 緊急時におけるパトロールや災害時の避難等を迅速に行うため、市役所、市民センター等の公共施設に、防災用の公用自転車の配置を検討します。

参考 自転車を活用した避難訓練事例

他市町村では、災害時に備えた自転車活用による避難訓練等も行われており、日常的な自転車利用に加え、防災意識の向上に役立つ等、自転車活用の多様化とその重要性がますます高まっています。



自転車活用による避難訓練状況
(2013年 愛知県田原市)

出典：村上ひとみ、脇浜貴志、小山真紀、奥村与志弘：津波避難における移動手段と自転車活用による研究－南海トラフ地震に備える愛知県田原市の訓練事例－、地域安全学会論文集、No.28.2016.3